

児童自ら課題解決の糸口を見いだせる算数科指導の工夫

—既習・未習事項との結び付きを考える

「つなげる活動」の設定を通して—

研究構想図

長期研修員

松田 美穂

既習事項を基に、結果や方法の見通しをもち、
自ら課題解決の糸口を見いだすことができる児童

単元を通して繰り返す



つなげる活動③ 考えの根拠・共通点・よさを観点に**結び付き**を考える

本時の学び・基になる考えを観点に**結び付き**を考える

つなげる活動④

本時の学び・基になる考えを観点に**結び付き**を考える

学びの自覚をする場面

次時の課題

結び付き

本時の課題

顕在化

今日の考えを
使ってできそう!
やってみよう!

支援例
・未習課題を提示する
・本時の課題と未習課題を比較させる

本時の基になる考え

結び付き

本時の考え

顕在化

考えを広げ
深める場面

解き方が違ってても
基になる考えは
同じだ!

つなげる活動① 前時との相違点を観点に**結び付き**を考える

つなげる活動② 前時との共通点を観点に**結び付き**を考える

本時の課題

結び付き

前時の課題
前時の考え

顕在化

前とはここが
違うけど...

課題を見いだす場面

1単位時間

本時の見通し

結び付き

前時の考え

顕在化

そうか、前と
同じように
できそう!

支援例
・共通点を問、掛かる
・前時の考えを提示する
・前時の考えと比較させる

本時の基になる考え

結び付き

本時の考え

顕在化

方法や結果の見通しをもつ
場面

つなげる活動 本時の学習と既習事項や未習事項との**結び付き**に焦点を当てて考える活動のこと

児童の実態

解決の方法が分からないよ
ヒントをもらえるまで待とう

教師の願い

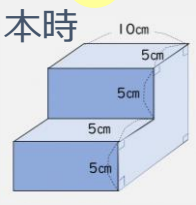
自分の考えをもって、
自ら課題に取り組んでほしい

授業実践 6年生 「立体の体積」


めあて 階段状の立体の体積も(底面積)×(高さ)の考えで求めることができるかな

つなげる活動① 前時までの立体との相違点を観点に結び付きを考える

つなげる活動② 前時との共通点を観点に結び付きを考える

本時 

前時までの考え(底面積)×(高さ)

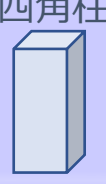
前時まで 

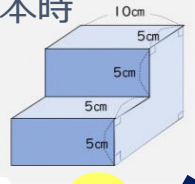
どうして悩んでいるの?

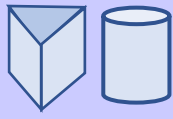
へこんでいるし、ジグザグだ


今日は嫌そう


昨日までは(底面積)×(高さ)でできたけれど、今日はできるの?

四角柱 

本時 

柱体 

二つに分ける 

底面とみる 

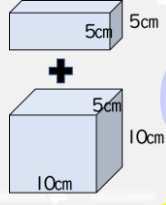
前時と同じように考えるにはどうしたらよいか?

分ければできそう!


置き方を変えればできそう!

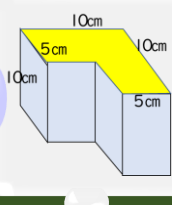
つなげる活動③ それぞれの考えの根拠を観点に結び付きを考える

つなげる活動④ 柱体の体積(底面積)×(高さ)の考えを観点に結び付きを考える



+

柱体 



公式 (底面積)×(高さ)

$5 \times 10 \times 5 = 250$

$5 \times 10 \times 10 = 500$

$250 + 500 = 750$

$(10 \times 10 - 5 \times 5) \times 10 = 75 \times 10 = 750$

なぜその解き方をしたの?

四角柱に分けられるから

一つの式で求められるから

どちらも(底面積)×(高さ)で求められるね

未習課題A 

本時 

未習課題B 

今日の考えを使って、これはできそうですか?

Aは底面がドーナツみたいだ

Bは分けるのかな? 置き方を変えるの?

今日の考え、明日も使えそう!

次に勧めてみたい!

成果 本時の学習と既習事項や未習事項との結び付きを意識し、自ら課題解決の糸口を見いだそうとする児童が増えた

課題 結び付きを考えて顕在化するためには、適用問題に取り組む時間も確保する必要がある

提言 児童が自ら課題解決の糸口を見いだせるようにするために、本時の学習と既習・未習事項との結び付きを考えさせて、結び付きを顕在化させる授業構想をしましょう